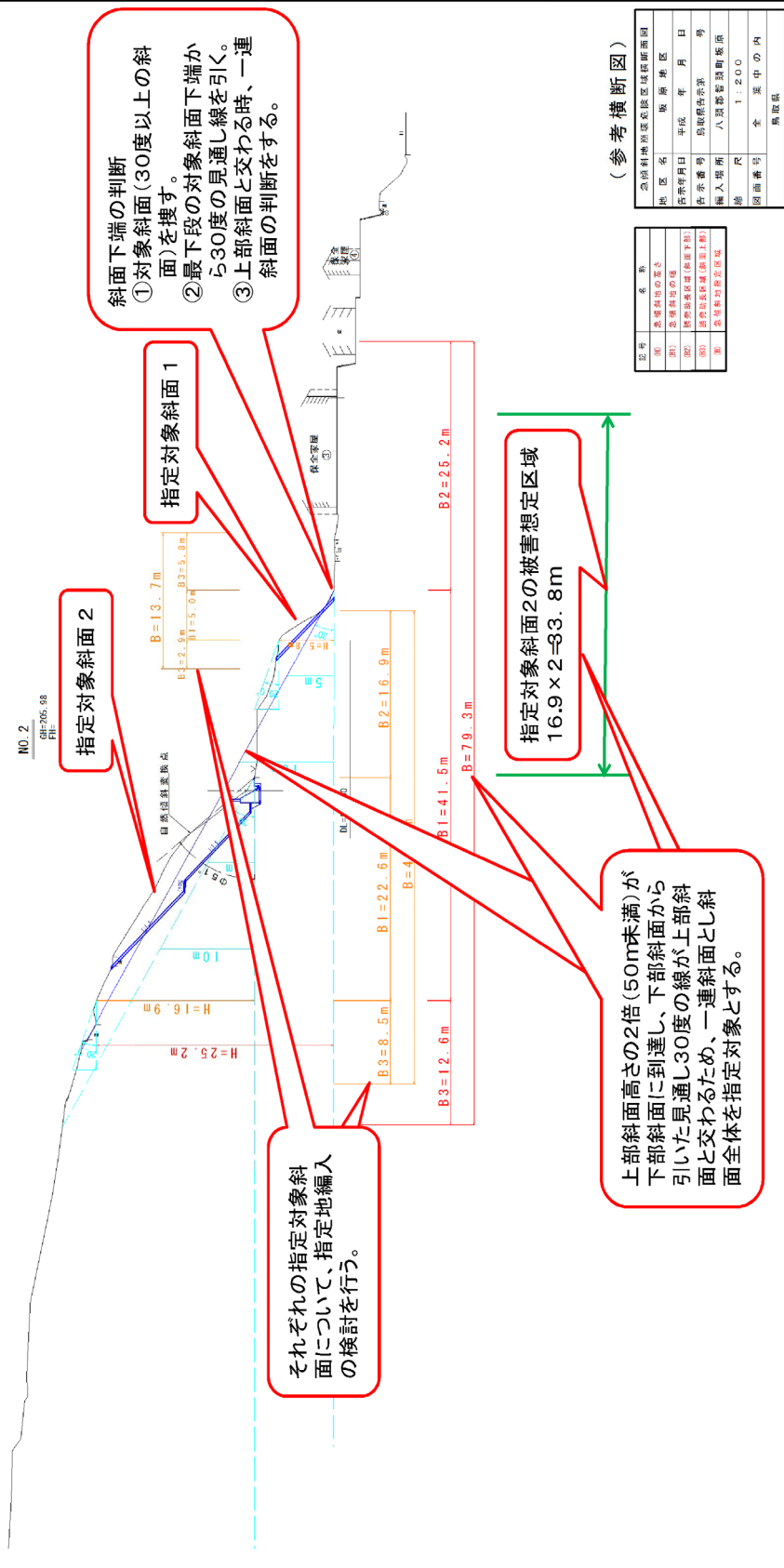


**作成例 5**  
**参考横断面図(1:200)**  
 (指定作業経緯がわかるように  
 コメントを記載すること)



**斜面下端の判断**  
 ①対象斜面(30度以上の斜面)を捜す。  
 ②最下段の対象斜面下端から30度の見通し線を引く。  
 ③上部斜面と交わる時、一連斜面の判断をする。

指定対象斜面 1

指定対象斜面 2

それぞれの指定対象斜面について、指定地編入の検討を行う。

指定対象斜面2の被害想定区域  
 16.9 x 2 = 33.8m

上部斜面高さの2倍(50m未満)が下部斜面に到達し、下部斜面から引いた見通し30度の線が上部斜面と交わるため、一連斜面とし斜面全体を指定対象とする。

(参考横断面図)

図面番号	全 張 中 の 内
縮尺	1 : 200
構入場所	八景郡警務所管内
指示番号	景観維持計画
作成年月日	年 月 日
地区名	坂 原 地 区
急傾斜地崩落危険区域区域番号	

図号	名 称
001	急傾斜地の位置
002	急傾斜地の幅
003	急傾斜地の長さ(指定地)
004	急傾斜地の高さ(指定地)
005	急傾斜地の傾斜率(指定地)

## **14.4 急傾斜地崩壊対策事業における用地補償**

### **14.4.1 用地買収範囲**

用地の買収範囲については、「道路工事関係技術便覧（第六版）」の第2編第4節に準じる。

### **14.4.2 補償工事**

補償工事は、急傾地崩壊防止施設の施工に伴って、既存施設等を物的・機能的に復旧する必要が生じた場合に行う。

従前の効用以上の機能を有する計画は行わない。既存施設等の管理者の要求により改良を加える場合は合併施工とすること。

補償工事の完了後は、速やかに当該施設管理者に引き継ぐこと。